

上州武尊山山行報告

【山行日】2019年 2月 24日(日) 快晴
【集 合】岩舟支所 P AM 6:00
【費 用】マイカー1台 : 5,000円
【メンバー】CL: 鈴木ユ 石川、岩淵、岡、松舘
【コースタイム】岩舟支所 P6:00=川場スキー場
P8:00/8:50+++リフト最上部 9:20/9:30~剣ヶ峰山
10:00/10:10~武尊山山頂 11:20/11:50~剣ヶ峰
山 13:00~リフト最上部 13:30+++川場スキー場 P
14:00/14:20=道の駅「川場田園プラザ」
14:40/15:00=岩舟支所 P16:20



去年2月に上州武尊山行を計画したが、荒天で中止を余儀なくされリベンジの山行を計画した。今年はいく以上に無い快晴の好天に恵まれ、ルンルン気分で岩舟支所を出発する。関越道沼田 IC



から県道64号・265号線を進み川場スキー場に到着。立体駐車場に車を止め、支度を整えたらエレベーターで7階のチケット売り場行く。チケット売り場には長蛇の列が出来ていて、入山届けを書いて列の最後尾に並ぶ。係の方が入山届けの記入について指導をされており、我々もチェックしてもらう。1人2500円を払うとカードを渡されリフトを利用出来、下山時に1000円が戻ってくる。桜川エクスプレスとクリスタルエクスプレスの2本のリフトを乗り継ぎ、標高1800mを越えるリフト最上部に着く。大勢のスキーヤーやボー

ダーで賑わっており、ロープで仕切られた場所でアイゼンを付け出発の準備をする。準備が出来たら雪の壁を乗り越えて、先行者のトレースを追って登り始める。昨日も大勢の入山者があったようで、トレースがしっかり付いており歩き易い。いきなりの急登で息が上がるが、先行するグループを追って尾根まで登り上がる。尾根に出ると眺望が素晴らしく、これから登る剣ヶ峰山や上州武尊山が真白く聳えている。剣ヶ峰山に着くと下りの難所通過に時間が掛かり、渋滞の列が出来ていた。山頂からの眺望が素晴らしいので、展望を楽しみながら写真を撮り順番を待つ。

15分くらい待つようやく順番が来て、急な岩場を慎重に下る。危険箇所はここだけで、ここから山頂までは素晴らしい景色を楽しみながら雪の尾根を快適に登って行く。結構アップダウンが多く体力を使うが、とにかく眺望が良いので疲れを感じずに登ることが出来た。



山頂直下の急登は夏道を登らず左に巻いて、武尊神社からの道へトラバースして頂上へ登って行く。最後の急坂を登ると武尊山山頂に出て、360度の大パノラマが出迎えてくれる。西に谷川連峰から



草津白根、四阿山、浅間山が見え、北に燧ヶ岳や至仏山から巻機山、東には日光白根や男体山の日光連山が望め360度の大パノラマを楽しむことが出来た。展望を楽しんだら山頂標識の前で記念写真を撮り、山頂の一角に場所を取ってランチタイムとする。お湯を沸かして各自持参したカップ麺やスープと、おにぎりを景色を楽しみながら味わった。風も無く穏やかな天気で、おそらく今シーズン最高の晴天に恵まれたと思う。皆さんランチの後もしそう

にて写真を撮りまくっていた。景色を十分に楽しんだら下山する。下山は往路を戻すが、下りは目線が変わるからか気持ちにゆとりが出るせいか、登りと違った景色が広がっていた。下りで見える剣ヶ峰山は迫力満点で、時間にゆとりがあるのでのんびり周りの景色を楽しみながら下る。剣ヶ峰山から左側の斜面が陽射しを受けて輝いており、ウワー綺麗と歓声が上がる。午前と午後で陽光の当り方が違い、雪の斜面が輝いて見えとても美しい。谷川連峰や浅間山もいっそう輝きを増し、景色を楽しみながら下りリフト最上部に戻った。アイゼンを外したらリフトに乗り、クリスタルエクスプレスを降りた所のパノラマハウスでトイレを済ませる。さらに桜川エクスプレスに乗ってカワバシティに着き、7階チケット売り場で下山報告をして1000円を受け取る。エレベーターで駐車場所に降りて、靴を履き替え支度が出来たら帰路につく。絶好の天気にも恵まれて雪山登山の醍醐味を堪能し、大満足の山行で去年のリベンジを果たすことが出来た。帰り道にある、道の駅「川場田園プラザ」に寄り、お土産を買ってから沼田インターに向かう。帰りの関越道も順調に走り、予定より早く岩舟支所に帰着出来た。

